



© 公益社団法人 日本フェンシング協会 : Augusto Bizzi/FIE

# 夢と感動をありがとう

東京2020オリンピックでは岩国市にゆかりのある4人の選手が出場しました。出場選手の活躍と祝福の声を紹介します。



© 公益社団法人 日本フェンシング協会 : Augusto Bizzi/FIE



© IHF



© IHF



日本ホッケー協会提供



## 加納 虹輝 選手

団体エペ 金メダル獲得  
個人エペ 15位



応援ありがとうございました。この大会で多くの方に感動を与えることができたならとても嬉しいです。

### 祝福の声

山口県立岩国工業高等学校  
フェンシング部監督  
本間 邦彦さん



加納選手は勝負を決するアンカーとして勝利に貢献し、見ている人に夢と希望を与えてくれました。今後も、パリオリンピックでの連覇を視野に活躍することを期待しています。

## 尾本 桜子 選手

ホッケー女子  
グループリーグ6位



たくさんの方の応援ありがとうございました。今回の結果を受け止め、次に向かって頑張ります。

### 祝福の声

KUGAホッケークラブ  
監督 田中 孝昌さん



積極果敢に得意のスピードあふれるドリブルで世界を魅了して、最後までチャレンジし続けた姿に感動しました。これからも一枚岩で応援しています。

## 徳田 新之介 選手

ハンドボール男子  
グループリーグ6位



多くの方々に支えられているということを感じたオリンピックでした。応援ありがとうございました。

### 祝福の声

山口県立岩国工業高等学校  
ハンドボール部監督  
倉谷 康彦さん



岩国が生んだスーパースターが世界のひのき舞台上で活躍してくれたことを心から誇りに思います。2人はまだ若い。パリ、ロサンゼルスでも楽しませてください。

## 徳田 廉之介 選手

ハンドボール男子  
グループリーグ6位



たくさんの応援ありがとうございました。これからも少しずつ成長できるように頑張っていきます。

### 祝福の声

IDBスポーツクラブ  
理事長 原田 美智子さん



「いつの時も故郷でありたい」それが、IDBスポーツクラブ♡たくさんの愛と夢と希望と喜びをありがとう。いつでも帰ってきてね。みんな待っているよ！